



▲図書館の内観イメージ



▲南側から見た外観イメージ

施設の概要

施設名称 (仮称)南相馬市立図書館

建設場所 南相馬市原町区旭町二丁目地内

計画面積

敷地面積 5,650㎡

延床面積 6,717㎡

事業費

新図書館建設事業

17億7,700万円

資料整備費を除く

駅前交流センター建設事業

4億7,100万円

合計 22億4,800万円

今後の事業計画

平成18年度	実施設計業務等 本体工事等発注
平成19年度	本体工事等
平成20年度春	建物しゅん工
平成20年度秋	新図書館開館

事業経過

平成16年10月	新図書館整備基本計画策定
平成17年4月	設計者選定競技の実施
10月	基本設計業務着手
平成18年2月	基本設計業務完了

重点事業(原町区事業)

南相馬市新図書館

建設事業

事業概要

JR原ノ町駅前地域への将来の発展に向けた人づくり・まちづくり、多様化する市民の学習ニーズに応える生涯学習の拠点として新図書館を設置します。

併せて市内全域への図書館サービス網を整備し、すべての市民が資料や情報を容易に入手できる環境を確立します。情報が集まるところに人が集まり、人が集まるところに情報が集まる状況を創出し、中心市街地の活性化につながる施設として、平成20年度のオープンを目指し整備します。

事業コンセプト

本施設は、図書館が本来有する図書館機能のほかに「生涯学習と情報をはじめとした交流機能」に特化するものとし、次の機能を加えたハイブリッド・ライブラリーとします。ハイブリッド・ライブラリーとは、図書館の機能に、ほかの機能を付加することによって、より大きな効果を発揮することができる複合型図書館です。

(1) 中央図書館機能

小高図書館をはじめ鹿島図書館、各生涯学習センター、学校図書館などとネットワークを結び、市全域図書館サービス網の拠点となる。

(2) 情報発信機能

市の情報発信の拠点として、市民や市外からの来訪者が必要とする情報を提供するとともに地域の情報を発信し、高度情報化社会に対応する。

(3) 市民交流機能

市民や市外からの来訪者が自由に交流し、新しいコミュニティを形成することができる。

(4) 生涯学習機能

市民がそれぞれの個性や能力を生かしながら、いつでも、だれでも、自由に学習活動の成果を発揮することができる。

図書館建設事業のイメージ

